

ナンバリング	B①13	科目名	特別支援保育Ⅱ
担当形態	単独	担当教員	藤澤 翠美花
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	太田俊己 編著 青鞥社 2021年 「子どもと社会の未来を拓く障害児保育—インクルーシブな保育に向けて」		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な子どもが共に過ごすことの意味を、子ども同士の育ちあいの視点から説明できる。 ・どの子どもも参加でき、過ごしやすい保育について自分なりに考察できる。 ・特別な支援が必要な子どものいる家族の心理を知り、様々な関係機関との連携・協働の重要性を理解し、説明できる。 ・障害児もひとりの「こども」であり、特別支援保育は「保育の原点」であるという 特別支援保育の本質を理解し、説明できる。 		
授業の概要	1年次の保育実習を踏まえて、改めて障害とは何かを概念・歴史的に整理すると同時に、特別支援保育にかかわる現状と課題を理解します。また、特別な支援が必要な子どもとの関わりについての具体的な保育の事例を扱いながら、子ども同士の育ちあいや、「どの子どもも参加できる」保育のあり方について考えるワークを重ねます。更に、障害児の親・きょうだいなど家族の心理を理解し、保育者という立場で自分に何ができるのか、考える態度を育みます。		
授業計画	第1回 オリエンテーション：保育実習をふりかえる 第2回 「障害」の概念と障害児保育の歴史的変遷 第3回 特別支援保育にかかわる現状と課題 第4回 多様な子どもが共に過ごす意味とは(子ども同士の育ちあい) 第5回 多様な子どもが共に過ごす意味を「事例」から考える① 第6回 多様な子どもが共に過ごす意味を「事例」から考える② 第7回 多様な子どもを包み込む保育とは(個の視点と集団の視点) 第8回 多様な子どもを包み込む保育のあり方を「事例」から考える① 第9回 多様な子どもを包み込む保育のあり方を「事例」から考える② 第10回 個別の指導計画の作成 第11回 障害のある子の家族(親・きょうだい)の心理と支援① 第12回 障害のある子の家族(親・きょうだい)の心理と支援②		

	第 13 回 関係機関との連携と保育者の役割① 第 14 回 関係機関との連携と保育者の役割② 第 15 回 総まとめ:特別支援保育において大切なこと(グループワーク)				
準備学習と必要時間	・事前に授業で指定された課題には必ず取り組み、予習をしておくこと。 (必要時間:30分)。 ・毎週30分以上は、授業に関連する事例を調べたり、テレビや雑誌を読んだりする習慣を身に付けること。				
評価方法	・授業時間内の取り組み(参加状況・授業内ワークを含む) — 40% ・レポート — 60%				
参考文献	鯨岡峻編「最新保育講座 障害児保育」(第2版)ミネルヴァ書房 2013年				
特記事項	「特別支援保育Ⅰ」の単位を修得していない学生は、履修できません。				
課題へのフィードバック方法	レポートには、必要に応じてコメントを記入し、返却します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験					